

近畿地連OB会ニュース

No.264 2021 年 10 月 1 日<金>

民放労連近畿地連 OB 会

大阪市北区中崎西 2-2-1

TEL06-6364-5604 FAX06-6360-2122

minpororen-kinki@pop07.odn.ne.jp

訃報2件

MBS-OB の石濱俊造さんが亡くなりました。8月初め「退院した、まあまあ元気」とOB会あての便りをいただいて、シルクロード旅行記とともに先月号の会報に近況を掲載したばかりでしたが、その記事を編集集中の8月 31 日突然の大動脈解離で倒れたということです。88 歳でした。

刑事事件にさせられた毎日放送の 40 年争議を、解決まで労組委員長として長く尽力されたのは皆さんもよくご存知のこと でしょう。



OBC 大阪放送の OB 池阪 正史さん が9月9日81歳で亡くなりました。

池阪さんは東京支社勤務で、東京支部連から労連本部常任執行委員として1973年～88年の16年間に渡って活躍され、定年退職後は板橋区高島平で民医連友の会など住民運動で活躍されていたということです。夫人の話では、区民検診を受けたところ再検査が必要となり、7月19日胃カメラで診断の結果、早期の悪性胃がんが診断されたということで、入院経験のあった順天堂病院に8月6日入院、9月6日手術となりました。

胃の2/3を切除し、術後9月8日本人からの連絡では元気がなかったとのことで、9日朝病院から出血しているとの連絡を受け病院に駆けつけたが意識はもうろうとしており、その日に回復することなく亡くなったそうです。胃がんの手術は成功したが心臓がもたなかった。ただ出血の痛みはなく貧血状態で余計なことを考える間もなかったのは本人にとっては良かったのではないかと思います、と話しておられました。（吉澤）

追悼のこたば（到着順）

畑澤です。石濱さんが亡くなられたとのこと、ビックリです。

長生きする人と思ってましたが・・・

地連にいたときは、お世話になりました。（ABC 畑澤さん）

とても温厚な石濱さんでしたね、

でも組合の委員長をされていた時、

会社に抗議する姿はとても力強い声で

普段の穏やかさとのギャップに驚きました。

色々差別雇用のことでお世話になりました。ご冥福をお祈り申し上げます。（ABC 岩崎さん）



西村公朝氏画

6 月に 86 歳の誕生日を迎えた私はコロナとも仲良くせず元気でおりますが、同年代の友人の訃報はショックです。

元気とは言っても歳なりの足取りになってはいますが…

コロナ禍で偲ぶ会も出来ませんが、謹んでご冥福をお祈りします。合掌 （ABC 野崎さん）

石濱さんの訃報に接し、深い悲しみと寂しさに打たれています。

今年早春(昨年でしたか?)OB会ニュースで石濱さんの足の具合が悪いのでお花見中止の記事を見たので、京都の護王神社で足腰のお札とお守りを頂いてお届けしたのですが、その時はお元気そうでした。

石濱さんとは現役時代一緒に仕事をしたことはなく、お付き合いは私が組合の役員をさせて頂いた時からのことでしたが、他人の話をよく聞き気持ちを忖度できる、そして何よりも熱血漢でありました。大和路の石仏に深い造詣を持って居られたので、また何かご縁があるかと思っていたのですが、本当に残念です。心からご冥福をお祈りします。

(MBS 太田兼三郎さん)

また友の逝けるを聞きしこの夜は寂しさこらえ一人酒酌む

毎日放送労組・元委員長 石浜さんがお亡くなりになりました。若いころから、いろいろお話し、教えてもいただいた仲でした。海野委員長時代から、労組の会合で知り合って冗談を言い合うようになりました。しかし、そんな呑気なことではなく、ある日朝早く、彼が私の職場に飛び込んできました。「オイ！えらいことになってるで」「どないした？」「警官が、機動隊が入った！」「どこに？」「ウチや。ストで座り込みやってたら、会社は機動隊入れよった」「なにをしてんねん。早よ行んかい。俺も一緒に行く」

私は、急いで年休届を上司の机の上において、一緒に千里の毎日放送に駆けつけました。そこには大阪放送労組の組合員の姿もありました。訃報をきいて最初に思い出したのがそのことでした。思わず、涙がにじんできました。石浜さん、ご冥福を祈ります。

(OBC 本田(長尾)さん)



池阪君へのお悔やみ

池阪君は、大阪放送労組結成の時から、本社の技術部にいました。その頃はまだ若かったので、青年部で大活躍してくれました。池阪君と一緒に活躍してくれた北岡克行君も亡くなり、私より若い元青年部組合員が逝ってしまうのは寂しい限りです。ご冥福を祈ります。

(OBC 本田(長尾)さん)

池阪さん、残念です。札幌労連大会が終わって道内をうろうろしていたらどこかの駅でばったり出会って一緒にレンタカーで観光ツアーをしました。気が付いたら帰路の便に遅れそう。彼の巧みな運転で(言葉を替えれば飛ばしに飛ばして)空港に間に合ったことを思い出しました。ずっと友人でいたい温厚明快な方でした。たまる

(YTV 田丸さん)



石浜俊造さんの訃報に接したとき、にわかに信じられず頭が混乱しました。だって9月号の会報に久しぶりに原稿を寄せてこられ、これからも何回か寄稿するといっておられたので、まあまあ元気になっていると思っていた矢先でしたから。そのとき受けたショックは今も尾を引いています。石浜さんは異色の委員長でした。営業の

ひとが委員長になるようでは組合も終わりだなあと案ずる組合員もいましたが、その懸念は案ずるにおよびませんでした。常に組合の先頭に立ち、解雇処分を受けながらも組合員の支持を得て職場復帰を勝ち取り、休日協定をはじめ数々の労働条件改善に奮闘されました。

その当時、まだまだ賃金も安く、ベースアップは切実な要求でした。いまでも語り継がれているのが「年齢万円」の一時金要求です。30歳なら30万円、40歳なら40万円、このシンプルなスローガンはわかりやすく、またたく間に民放各労組に広がり、一時金闘争は大きく前進しました。また、「正月出勤手当」もMBS労組がはじめて獲得したもので、これもユニークな要求として全国に波及していきました。

石浜家は先祖代々、漢学を専門とする家柄で、父親の純太郎さんも高名な東洋史学者で関大の教授も勤められました。長男の恒夫さんは作家（川端康成に師事）、次男の裕次郎さんは俳優、三男の方は松山のテレビ愛媛の社長、長女の方は鳥取地裁の調停員、末っ子のご本人はTVプロデューサー。華麗な一族といっていいいでしょう。作家の藤沢恒夫さん（父親の姉の子）はいとこにあたります。藤沢恒夫さんはアマチュア5段の段位を持つ腕前で、文士きっての将棋好きでした。住吉の実家をよく訪れていたそうで、その影響もあってか、石浜さんはめっぽう将棋が強く、「将棋世界」の雑誌を読んで研究しておりました。歌手の藤島恒夫の芸名は藤沢恒夫が由来といわれています。

石浜さんは阪大ではホッケー部に所属して活躍しましたが、腕前のほどはよくわかりません。大の巨人ファンで、タイガースファンのわたくしとはよく論争したものです。麻雀も大好きで、よく一緒に卓をかこみました。私は麻雀は本を読んで覚えましたが、石浜さんは学生時代から実践で鍛えておりましたので、実力差はいかんともしがたく、たまに勝つことはありましたが、たいてい負かされました。家の柱の何本分かは私のフトコロからでていったものです。憎き麻雀敵きでしたが、いまとなつては楽しい思い出となっています。

石浜さんは在職中、「真珠の小箱」の制作に情熱をそそいでいました。もともと仏教や石仏、寺院に詳しく、それが番組作りにも役だったのではないのでしょうか。旅好きで、ヨーロッパ方面にもよくでかけておりましたが（一人で行ったり、夫婦で行ったり）、なかでも中国がお気に入り、これまで30回も訪れたといえますから、そこで学んだ知識はプロフェッショナルの域に達していました。公民館活動の一環として旅行会社とタイアップして「石浜先生と行く〇〇の旅」をたびたび企画、おばちゃん達に囲まれながら喜び勇んでよくでかけていました。海外旅行は年齢と同じ回数を目指してい

ましたから、訪れた国は90近くに達していたと思われます。

趣味を活かして「大和路石仏散歩」という本も出版されました。本屋で購入してわたくしの手元にもありますが、写真がふんだんに掲載されており、わかりやすい文体なので、とても読みやすい本となっています。

奥さまは「葬式は家族葬で行いました。グループ写真ばかりで一人で写したものがなく遺影写真を選ぶのに難儀しましたが、やっと自然体のものが見つかりそれにしました。無宗教なので音楽葬で執り行い、シャンソンの曲を流しました。主人は仏文なのでそれでよかったかと。二人とも好きなように生きてきました。苦しまずに逝ったので、これでよかったと思います」と気丈に語っておられました。奥さまの言葉に救われました。どうか安らかに眠りください。合掌



マラソン中継車ピケ



5年ぶり職場復帰した委員長

石濱さん ありがとうございました。

寺本眞名



地連OB会ニュースにシルクロード通信を連載して下さるそうで楽しみにしてありましたところ、突然の訃報に驚き、信じられません。心からお悔やみ申し上げます。

思い返せば1965年5月、春闘中千里丘の毎日放送のロビーでランチタイム集に機動隊が導入され、座り込んでいた組合員を警官がごぼう抜きで外に放り出し施錠、会社はロックアウトを宣言、委員長の石濱さんをはじめ3役を解雇、毎放映労組で書記長をしていた私も論旨解雇に。さらに毎日放送は8月森口さんをはじめ刑事事件をでっち上げ4人が逮捕される事件がおこり、毎日放送は組合つぶしのため毎放映画を偽装倒産させました。

こうした大弾圧に民放労連あげての、特に労連の副委員長だった西山さんや近畿地連の皆さんのご支援で7年後に勝利、職場に戻る事ができました。

この間委員長だった石濱さんのご負担は如何ばかりだったか、勝利報告集会で石濱-田比良両委員長の涙が印象的でした。

職場に復帰された石濱さんは教育部で『4年生の社会科』のディレクターを担当され放送映画のスタッフと番組作りに精を出され私も編集を受け持ちました。

石濱さんは上から目線ではなく、仲間として扱って下さりよくお茶をご馳走になりました。私が映画『天井桟敷人々』が良かったという「あれが分かるか?」と言われ、さすが仏文専攻されただけあって、深い思いがあったのでしょう。色々思い出されます。

放送映画労組OB会からお礼の気持ちを込めてお花をお贈りしました。



河邊さんが急性肺炎で入院していたとか、コロナでなくて良かったですね。また、元気になって会える日を楽しみにしています。

地連からの f a x、何かとおもったら『石濱さんが亡くなられた』という連絡。驚きました。OB会ニュースで、腰椎の圧迫骨折で入・退院後、歩行困難ということでしたが、歩行困難と言えば、私も同族程度に思っていたのでびっくりしました。

紙上を借りてお悔み申し上げます。

私の方は、つれあいが腰椎の圧迫骨折で歩けなくなり、急遽、介護保険の認定を申請、私もついでに申請して兩人とも「要支援1」と認定されました。つれあいは「歩行車」を借りて歩くようになり、近所のスーパーへの買い物や医者通いに元気に出かけるようになりました。私は、少しふらつきますが通院・散歩など杖ナシで歩いています。でも長時間の歩行はやはり困難です。

最近「在宅ひとり死のススメ」（上野千鶴子著 文春新書）という恐ろしいタイトルの本を読み、東京に居る息子、娘に世話になることや、自立で老人ホームに入るといったことを見直すようになりました。この本は老後の生き方についての私たちの常識がかなり間違いであることを教えてくれました。図書館で借りるか、購読をお勧めします。

寺さんの、『京城（ソウル）からの引き上げ』興味深く読みました。1945年8月15日の「ソウル」、以前に職場の仲間から聞いた『街に出た市民が手作りの「大極旗」を掲げ、解放を心から喜び、歌い踊る』姿の話が、そのままでした。

日本が戦争に負けた日の朝鮮の様子をそこに住んでいた日本人が書いたものを探したことがありますが、役所の記録はあっても、なぜか見当たりませんでした。どなたかご存知なら教えて下さい。寺さんが（参照）と紹介された、藤原ていさんが書いた「流れる星は…」も満州からの引き揚げで朝鮮は通過するなかでの体験です。

私の戦争・敗戦の話は、「OB会ニュース」に書こうと思っています。少しお待ち下さい。

森口さんの「信なくば立たず」が見事に命中、コロナの「明りが見えだした」と能天気の菅首相も総裁選出馬を諦めました。総裁選にも興味はありますが、ここは年内に必ずある総選挙で野党側が連合して勝利し政権を奪取するために力をつくすことが何より大切と思っています。すでに今年の4月の参院・衆院補欠選挙と、6月の東京都議選の野党共同候補の活躍、横浜市長選での野党推薦候補の当選が、総選挙勝利の流れを作ってきたと思っています。

「アメリカにおけるデモクラシーについて」を読む

中公クラシックス W82

齋藤 友宏



前天皇、今の上皇が歴代天皇の最長寿と聞いて、なぜかびっくりした。現上皇は私より一歳年下である。してみると私は古来希にみる長寿ということなのだろうか。

あまり頭は年をとっていないつもりであったが、理解し難い文書が増えたような気がするのには年のせいなのだろう。

今からもう4年も前になるが、「昭和一桁の随想」を書いた。元々、妹尾カッパの「少年Ⅲ」の垂流を作るつもりであった。それは学童疎開をテーマにした同窓会誌の予定であった。ところが幹事が取り上げてくれなかったので企画は宙に浮いてしまった。その企画だけが神戸新聞社の記者に伝わり、同窓会幹事の斡旋で記者と会うハメになった。同窓会誌は「昭和一桁の随想」に変わった。そんなご縁で、印刷した「昭和一桁の随想」が前記記者の手に渡った。記者は一読の後、一昨年の敗戦の日を前に、神戸新聞の誌面に署名入りで取り上げてくれた。この打ち合わせで会ったとき、戦後民主主義が話題となり、一度民主主義を勉強し直そうと思っていたところ、宇野重規の「民主主義とは何か」を読み、同書に紹介されているトクヴィルの「アメリカにおけるデモクラシーについて」に行き着いたわけである。

私は、独立を宣言した(祖国と縁を切った)アメリカという新しい国では、行政も教育も治安も、すべてを自分たちで処理しなければならず、民衆のすべてがなにかを負担しなければ成り立たなかったであろうと思った。そんな新しい国におけるデモクラシーのあり方に興味を抱いたのである(独立宣言は1776年、1789年ワシントン初代大統領に就任、トクヴィルのアメリカ視察は1831年、ペリーの来日は1853年、南北戦争は1861～1865年のこと)。それは今日の(思想よりも経済的利益に重点を置いた)アメリカ的自由論とも深く関わっているに違いない。そんなわけで「アメリカにおけるデモクラシーについて」という本に関心を持ったわけである。

トクヴィルという人のことは知らなかった。彼は19世紀フランスの立派な法律家である。著作も多数あり、日本での翻訳は2000年以後の出版が多いようだ。本書は中央公論社の「世界の名著」にも収められている。彼はフランスの法務大臣も勤めた人である。私のような素人の関心からアメリカを見たわけではない。この本は立派な、難しい「デモクラシー論」であった。多数の暴力についても、公務員の無力化についても意見が述べられている。本書はこの本の一部である。私はこんな翻訳本(本の一部だけの翻訳)は見たことが無い。翻訳者岩永健吉郎(1998没)は元東京大学法学部教授である。



宇野重規の「民主主義とは何か」は、表現は易しいがそんなに易しい内容ではない。彼も東大法学部卒、現役東大教授である。

私は中学一年のとき、軍国主義の社会が民主主義の社会に変わった。憲法の講義も受けたが、民主主義の真の意味は分かっていなかったようだ。民主主義自体は2500年もの歴史があると言うのに。

本誌に寄稿する意味は、多少なりともデモクラシーに関心を持つ人のお役に立てばと思うからである。

著者紹介 Clérel de Tocqueville フランスの政治思想家である(1805～1859)。パリ大学で法学を修めて法律家(裁判所判事)となる。1831年、行政制度視察のためアメリカを9ヶ月にわたって旅行、帰国後官を辞し35年に本書を出版。アメリカの政治社会の先進性を分析した。39年には下院議員となり、二月革命後は新憲法下で国民議会議員を経てバロー内閣の外相に就任した。51年、ルイ・ナポレオン(後のナポレオン3世)のクーデターに反対して失脚(同書より)。

この書籍はCHUKOCLASSIKSの一冊で翻訳者岩永健吉郎(1918～1998)は東京大学名誉教授(元東大教授)。2015.10.25初版発行。著者トクヴィルに関する一連の書は東大法学部政治学科が関わっているようである。著作は古典の名作らしいが一連のトクヴィル作品が出版されたのは、最近20年ほどのようである。私はトクヴィルのことを聞いた記憶が無い。

トクヴィルは「アメリカのデモクラシー」という本も書いている(岩波文庫 全4巻 2005.11.16 第1刷 本は全部で6冊ある)。こちらは1冊だけ購入したが少し易しく読みやすい。それにしても、どうしてヨーロッパ人の書く本は長いのだろう、不思議な気がする。

原稿を書いているとき、石濱俊造氏の訃報が入った。万感の想いである。

冥福を祈る。

おっちゃんのしゃべくりエッセー 261

2021年9月20日 田丸信堯



山が動く

Yさん 「山ってこの夏の土石流のこと?」

おっちゃん 「30年前、参院選挙で社会党が大勝。党首土井たか子の名セリフが『山が動いた』」

Y 「そんな山なら大歓迎ね」

お 「当時の争点は消費税。与野党逆転した参議院でその春実施された3%消費税の廃止を決めた。衆議院で否決され廃案になったけどね」

Y 「そんなすごいことがあったのね。今度の総選挙、本気で山を動かさなくちゃね。待ちに待った政策協定、四党首が署名しました!」

お 「マスコミは総裁選の予想ばかり。政治にしろける若者増やすだけ。四党合意を熱く広く知らせシラケを吹き飛ばす。まともな投票率にする」

Y 「PCで『山が動く』を検索すると『青鞥』創刊号と謝野晶子の詩が。『山の動く日来るなる(中略)すべて眠りし女』今ぞ目覚めて動くなる。もうそろそろ山も歴史も動かさなきゃね」



1990 年代の終わりのころ私はカナダに旅行した。自宅で私の誕生日（5月30日）を祝いカナダに向けて出発した。日本からカナダへは太平洋の真ん中に敷かれた日付変更線を東の方に越えていく。その日の内にバンクーバーに着く。

ホテルのレストランで夕食をとった。食事が終わるころデザートが運ばれてきた。私のお皿にはデザートのケーキを囲むようにチョコレートで Happy birthday to you! の文字が書かれている。

全員にデザートがいきわたったころホテルの支配人が場内マイクで私の誕生日を祝ってくれた。聞くと来客の誕生日を祝福するのはホテルの習慣だとか。

日本で私は誕生日のお祝いを済ませてバンクーバーに来たので、日本は5月31日だが日付変更線を越えたためカナダの日付は5月30日だった。

私は初めて2度も誕生日のお祝いをしてもらったことになる。

バンクーバーの近郊に作られたブッチャート・ガーデンを見学した。ここは庭園と植物園で諸外国のモデル庭園も造られている。私は興味があったので日本庭園を見たがとても他の人にはお勧めできるものではなかった。

海外の人たちに日本の庭園を見てもらうなら私は桂離宮を見てほしい。



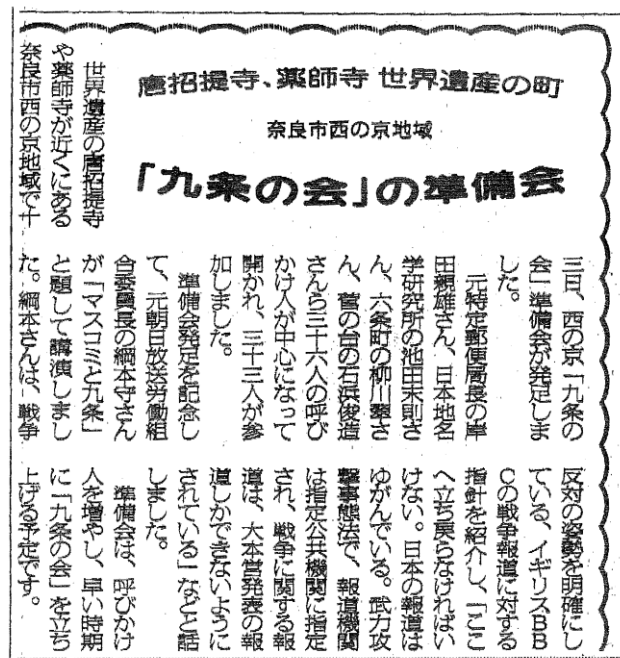
石濱さんの思い出

私は石濱俊造さんとは春闘の要求づくりで議論したのを覚えている。昭和47年春闘で朝放労は差別昇格反対で平岡豊彬さんと久保賢一さんの課長昇格を要求した。石濱さんは「昇格は会社が決めることなのに組合が要求しても…」と言われた。私は「人事は会社が決めるが現実には差別が生じているのは放置できない」と精一杯の反論をしたのを覚えている。

当時ABCでは会社が課長昇格の内示の際に脱退を迫っていた。この春闘の中で組合は勤続、学歴、年齢など過去の昇格実態から課長昇格が遅らされている組合員の課長昇格を要求した。私は昇格要求をするのは朝放労だけかと心配していたがすぐに近畿放送労組からも同様の要求が提出された。

MBSでは民事と刑事の双方で不当な弾圧が行われた。石濱さんは労組の先頭に立って奮闘し近畿の仲間たちも励ましてくれた。石濱さんはOBになってからも奈良市西の京地域の「九条の会」準備会でも奮闘された（赤旗の記事参照）。

石濱さんのご冥福をお祈りします。





コロナ禍でラジオ聴取者増える

隅井 孝雄

ラジオを聞く人がコロナ禍で増えていることが伝えられたのは、2020年2月ごろからだ。

ビデオリサーチによると首都圏のラジオ局5局の週別平均聴取人数（1分当たりのラジオ聴取人数、推計）では20年2月から3月では80万人だったのが、4月に入ると週90万人に増加したことがわかっている。その後も90万人前後が続くとみられる。

同社が12歳～69歳の男女5000人を調査したところ、コロナ禍での行動の変化について「ラジオを聞く時間が増えた」人は2.6%だった。



ラジコで聴く人 900 万人

ラジオは従来 AM や FM のラジオチューナーでしか聴けなかったが、2010 年ラジオがインターネット機器で聴ける「ラジコ」が始まった。ラジコは当初居住している地域のローカルラジオに限定されていたが、2014 年から月 350 円で全国のラジオが聴ける「ラジコ・プレミアム」が始まった。ラジコによると、ラジコの月間ユーザー数はコロナ禍以前の昨年2月から約1ヵ月の間で約150万人増加し、900万人を超えた。さらに、10代リスナーの30%が昨年3月以降にラジコの利用を開始しているという。

ラジコの効用

ラジコは iPhone などのケータイはもとより、家庭でパソコンでもアプリを入れれば聞くことができる簡便さで大きく伸びた。加えて、多数のラジオ番組が SNS や YouTube と連携した番組作りをしているのも、ラジコの存在があってのことだ。

ラジコの大幅増加の背景には外出自粛や休校、加えてテレワークの広がりなどがある。

日経ビジネスのアンケートでは、コロナ禍でラジオを聴く機会が大幅に増えた14.3%、やや増えた34.1%と、ラジオを聞き始めた人の半数はコロナ以降だ。



どのような機器でラジオを受信しているか調べてみた。据え置き型ラジオ、CD カセット付ラジオ、カーラジオ、カーナビ。ケータイ端末、パソコンなどだ。ラジコはカーナビ、ケータイ、パソコンなどで横断的に聴取できる。

ラジオ聴取者像

ラジオを聴く時間帯はこれまでのカーラジオ時代であれば出退勤時や受験生向けの深夜そして日中も主婦、高齢者の一定の高さが続いていた。しかし今回の日経調査では21時以降、24時以降が他の時間帯を大きく超えるという特徴を見せた。

関西で人気のラジオ局 FMCOORO では、大阪府に初めて緊急事態宣言が出された2020年4月上旬頃から、「新たに聴き始めた」、「今までも聞いていたが、リクエストするのは初めて」などといったメ

ールなどによる反応が急激に増えたという（読売新聞大阪版、20 年 7/11 夕刊）。また Tokyo FM では、ある番組が番組放送後、不定期に「オンライン飲み会」を開催しているのだが、時に参加者が 1 万人をこえることがある（朝日新聞東京版 21 年 5/24 夕刊）。これらの情報はラジコが威力を発揮し始めていることを示している。

また 15～19 歳の若者のうち 3 割が「コロナ禍以降ラジコで番組を聞き始めた」という調査もある。20 代から 30 代も「日常的にラジオを聴いている」という。さらに在宅勤務でテレワーク中の中年世代でもラジオを聴く習慣が身に付き始めているようだ。

雑誌のラジオ特集相次ぐ

ラジオの魅力に着目、大型の特集を組む雑誌が相次いで刊行されているとの報道が伝えられた。「RUTUS」3 月号で「なにしろラジオ好きなもので」、「TV Bros.」2 月号、ラジオ特集、「日経トレンディ」2 月号、ヒットをなぜ生み出せるか、

「週刊金曜日」8 月 20 日号、ラジオが面白い、などである。ラジオと雑誌は規模や受け手との距離が似ている。コロナ禍で改めてラジオの双方向性やリスナーとの距離感に着目した企画が多く、報道系の番組では話し手がのびのびと語れる、などの記述があった（民間放送 9/22）



COCOLO 人気

21 年 6 月、関西圏のラジオ聴取率調査が行われた。明らかになった事実は、FM Cocolo765 と FM802 が地上波局（ABC, MBS, NHK 大阪）を抑えて聴取者の支持を得ていることであった。50 代男女の場合の関西ラジオ支持率を例示してみよう。

1, FMCOCOLO765 20.3%、2, FM802 15.7%、3, MBS 15.6%、4, ABC 14.6%、5, FM 大阪 6.7%、6, NHK 第 1 6.6%。ちなみに、FMCOCOLO の 20.3%という数字は、一週間に 135 万人の視聴者がいることを示している。

以上のデータで見る限り AM 局を上回る FM 局の活躍が目立つ。現在の AM 局は数年後には新たな FM 周波数に転換するが、その備えが出来ているかを問う必要があるだろう。

ともあれ、ラジオは新たなメディアに再生しつつある。しかも聴取者の身近に存在するという特性を持つメディアでもある。今後のラジオの新たな発展に注目する必要がある。

ラジオ番組ベストテン

最後にどんな番組に人気が集まっているのか、見ていただきたい（日経ビジネス 2/19）。

ワイド系

1. ニッポン放送、オードリーのオールナイトニッポン。 2. ニッポン放送、Creepy Nuts のオールナイトニッポン。 3. Tokyo FM、福山雅治 福のラジオ、 4. ニッポン放送 菅田正暉のオールナイトニッポン、 5. Tokyo FM、山下達郎の楽天カード サンデー ソングブック。 6. TBS ラジオ、赤江珠緒たまむすび。

アイドル系

1. ニッポン放送、Six Tones のオールナイトニッポン。 2. ニッポン放送、藤ヶ谷太輔 Peaceful Days。 3. NHK ラジオ第一、らじらー！。

以上



自民総裁選挙戦は「準決勝戦」だ

壺岐 一郎（元国会記者）

新聞・テレビ・SNSとこのひと月、自民の総裁選でウルサイ限り。

うまく立憲が政策を発表し、善戦してきたといえる。「公平」の原則を思えば、自民の党内選挙だけでは扱いが不公平だからだ。この辺、立憲・枝野代表は巧みに動いた。本選挙は総選挙としたのは名言だ。蔭ではあのアベ氏が性懲りなく暗躍し、高市に加担した。結果は、1次は党員票＋議員票

9月29日水曜 1次 岸田 256＞河野 255＞高市 188＞野田 63 注) 高市 議員票 114

〃 決戦 岸田＞ 河野 —— —— 岸田＋議員票＝高市 110＋野田 25？
議員票 249 131 —— —— 146＝

10月4日月曜 国会 総理指名選挙

自民党総裁選挙は「隠れアベ選挙」だ。今度の総選挙、野党は河野より、やりやすい。アベの影がチラつくほか、岸田は広島出身、地元はK夫妻の金塗れだ。有権者が許さないのは、春の参院再選挙でも明らか。立憲中心・無名の女性候補が官僚出身の自公候補を破ったではないか。さあ！野党が力を出す政権交替の好機だ！！

九州 OB 会報 10 月

RKB 出身の映画監督、西嶋真司さんの『標的』が JCJ 賞を受賞。（慰安婦問題での元「朝日」記者植村隆氏 へのバッシングをテーマにした記録映画） 西嶋氏本人の寄稿も。

- 今こそ長期自民党政権に終焉を！ _____ 工藤 幸男さん
- 野党共闘を前進させよう！ _____ 大串剛右エさん
- 自・公に変わる野党連合政権を！ _____ 星野 信さん
- またとないチャンス _____ 山下 忠道さん

コラム

- 塩見桂二のしにかるコラム（高校球児に多い翔の名…宇宙…ビッグバン…）
- 近事遠望マスコミ編 「ニュース 23」は 10 時スタートに 東 義人さん
- 池田義一物語（14） 「古典書道から学んだもの」 池田 義一さん
- 新・先達同輩列伝 「元地連書記長・労連中執 下川一弘 氏」 東 義人さん

近畿会報から 綱本さんの「大雨と地球温暖化」 中村さんの「孫のコロナ感染で～」が転載されています。

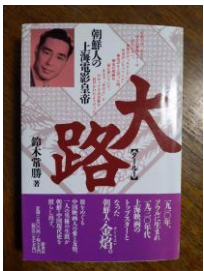
「九州 OB 会」報 必要な方はお申し出ください、印刷したもの、PDFファイルどちらでも発信可です。

鈴木常勝さんのこと。スプリングキャンプのこと。

中村 秀男

この前、朝刊で大きな扱いの訃報記事が目にとまりました。(9月23日朝日、大阪版) 紙芝居師、鈴木常勝さん、あれ?この人!すぐに思い出しました。近畿地連のスプリングキャンプで講演してもらった人や。

講演テーマのメインは忘れましたが、後の交流会で紙芝居、鍼灸、映画のことなど親しくお話し、彼の著作「朝鮮人の上海電影皇帝 大路」を買いました。日本の侵略戦争の時代、抗日運動の闘士でもあり、二枚目大スターである金焰(チン・イエン)という朝鮮人俳優の物語です。新聞記事には長居公園など自宅近くの公園だけでなく、アジア各国でも紙芝居をするなどアジアへの視点を欠かさない人でした。また扇町公園での集会でよくお見かけする金洪仙(キム・ホンソン)さんは彼のおつれあいだと記事で知りました。



神戸でのスプリングキャンプは角岡伸彦さんでしたでしょうか。部落問題の話でしたが、最近もEテレの「バリバラ」出演の角岡さんを見ていると、ホルモン料理の話聞いた事が思い出されます。

「近畿地連40年史」にも書かれてないので、日にち・会場・他の講師など詳細を確認できないのですが、このように地連の企画はユニークだったと思います。

講師の人選、春闘前の「スプリングキャンプ」というネーミング、アニメアイドルのコスプレ披露の交流会など、地連には洒落の好きな人材が多かったのですね。

KBSの闘争支援として、146億の根抵当解決だから毎月一人146円の支援金だと決めていただいたのは、洒落でなく温かいご配慮だと感謝しております。ひとつの新聞記事からいろいろ思い出したのです。



編集後記 石濱さんの追悼号になりました。突然の知らせに皆さん同様私も驚き、愕然!でした。E-mailでお知らせ出来る会員にはすぐに送信しましたが、今号で初めて知る会員もお有りかと思います。

森口さんの追悼文中にある「石濱先生と行く〇〇の旅」には放映OBの柏渕さんや、東通OBの吉澤さんらと数度参加して楽しい思い出をしました。

池阪さんは近畿地連OB会員ではありませんが、「華のOBC」メンバーの一人に数えられる方だったと推察しています。隅井さんからお知らせいただき追悼記事にしました。

中村さんの寄稿にある鈴木常勝さんは、当時地連執行委員だったOBCの吉村直樹さんが「おもろい紙芝居屋さんが居る」からと、スプリングキャンプに招いたのでした。確かに面白くてユニークな方だったと記憶しています。上の記事を書いた武田肇さんは「朝日」の大阪社会部で注目すべき記者の一人です。

MBSラジオの改編で朝番組のコメンテーターに高橋洋一氏ら右派と目される数人が起用されるそうで、ジャーナリストの立岩陽一郎氏が疑問視する文を発表しています。またOHK岡山放送では過労とパワハラで30歳の社員が自殺しています。これらのことも記事にしたかったのですが紙面のキャパで見送りました。(井)